

令和3年度 阿波十郎兵衛屋敷・阿波農村舞台の会の文化・観光事業

事業名	事業内容
1 阿波人形浄瑠璃の上演(金額12,500千円)	<p>(1)定期公演</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別期間(8月11日～16日) 太夫・三味線付き公演 1日4回 ・上記以外の期間 土日祝日 太夫・三味線付き公演 1日2回 平日 録音音源を利用した上演 1日2回 <p>※演目の概要だけでなく、阿波人形浄瑠璃の特色や発展の経緯、鑑賞のポイントをわかりやすく解説し、上演する。</p> <p>※密を避け、効率的な上演を担保するため、オフシーズンの定期公演を減らし、ハイシーズンの週末に特別公演を行うことを検討する。</p> <p>(2)特別公演・派遣公演</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ時代に対応し観客の分散を図るため、特別公演、派遣公演を積極的に実施する。 ・県教育委員会との連携により、遠足や修学旅行、校外学習の誘致に努める。 <p>①特別公演 旅行エージェントやグループ旅行などの要請に応じて、十郎兵衛屋敷で行う公演。定期公演で上演している「傾城阿波の鳴門順礼歌の段」以外の演目も実施する。</p> <p>②派遣公演 学校の出前授業や入学式、各種会議等のアトラクション、農村舞台などへの派遣公演、県外・海外公演を通じて、徳島県の人形浄瑠璃の拠点施設としての役割を担う。</p> <p>(3)特別企画公演の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別企画公演を開催することにより、県内の集客と県外客へのサービス充実を図る。 ①徳島の人形文化紹介 県内各座の特色を紹介する公演を実施する。定期公演ではできない演目の上演や、式三番叟やえびすなど地域の信仰を支えてきた人形の紹介、徳島ならではの時代物の古典作品の上演など。 ②後継者団体公演 後継者の育成、モチベーションを高めてもらうことを目的に、小・中学、高校、大学等の民芸部による公演を行う。
2 阿波人形浄瑠璃の魅力の創造(金額4,500千円)	<p>(1)徳島じょうり クルーズ</p> <p>タクシーの配車システムをカスタマイズして、船着場から船を呼ぶことができるようにして、県民や観光客の足として船の利用を促進する事業に取り組む。</p> <p>(2)新作・コラボレーション</p> <p>人形浄瑠璃の新たな可能性を探り、ファンを開拓することを目的に、新作や他のジャンルの芸術表現とのコラボレーションに取り組む。</p> <p>(3)ITの活用</p> <p>最新の映像投影システムを導入し、高精細で撮影した農村舞台の襖絵をコンピュータで次々と転換させて見せる「デジタル襖からくり」を上映するなど、ITを活用した新たな試みに取り組む。また人形芝居のデジタル襖からくりを背景に使い、場面転換をする公演を実施する。</p>

3 展示業務(金額500千円)

(1)調査研究	・県内の人形文化調査(県内の人形座や太夫、人形師) ・農村舞台詳細調査(地域の状況、襖絵や絡繩り、舞台道具など)、 ・地域の文化資源調査(食文化、伝統工芸、景観、その他生活文化等)
(2)常設展示の効果的運営	職員やボランティアガイド等により、展示資料をもとに阿波人形浄瑠璃の特色を解説するほか、体験用の人形を遣いながら人形が生きているように見えるためのポイントを伝えたり、実際に人形を持ってもらい、操作の難しさを実感してもらうなど、公演鑑賞をより充実したものにするとともに、上演していない時間帯に訪れたお客様にも十分満足していただけるよう配慮する。
(3)企画展示コーナー等の積極的な活用	展示室内の企画展示コーナーと母屋の土間の壁面、座敷等を活用して、県内に残る人形浄瑠璃文化の調査研究に基づき、様々な視点から人形浄瑠璃の魅力を掘り下げて捉え展示する。また、人形浄瑠璃と関わりの深い徳島の伝統文化の紹介を行うなど奥行きのある展示事業を展開する。 ・現代の木偶展「子役の人形」 ・松茂の人形浄瑠璃 徳島を代表する藍商人が活躍した松茂の人形浄瑠璃を紹介する。 ・庭とお茶、水石など

4 教育普及事業(金額1,500千円)

人形や義太夫節の鑑賞教室を通じて、人形浄瑠璃の中に息づく日本人の感性に触れ、人形浄瑠璃をより深く楽しんでもらうことにより、新たなファンの開拓を図る。 人形遣い体験、太夫体験、三味線教室、3D木偶組み立て講座など

5 情報の収集と発信(金額500千円)

定期公演や各種イベントなどの阿波十郎兵衛屋敷の事業への集客はもとより、阿波人形浄瑠璃の振興を図ることを目的とした情報の収集、発信に積極的に取り組む。 (広報媒体)下記の媒体を効果的、効率的に連動させて活用する。 ①施設パンフレット ②インターネット(ホームページ、フェイスブック、インスタグラム) ③各種メディアの活用(新聞、テレビ、タウン誌等)
